





絵の中の君 2



お
久しぶりだのお！
帰ってきたのか…







クロ!



じゃ丁度
いいかも…
これ
食べない?



パレが食事行った
オレたち待ってる
おあづけ…
部屋ちうかしたから



あ
キャン

!



何してるの?





パレ…？



キャン!!

ダ



キャンとは
ちゃんと
話せてない



あれ
以来…



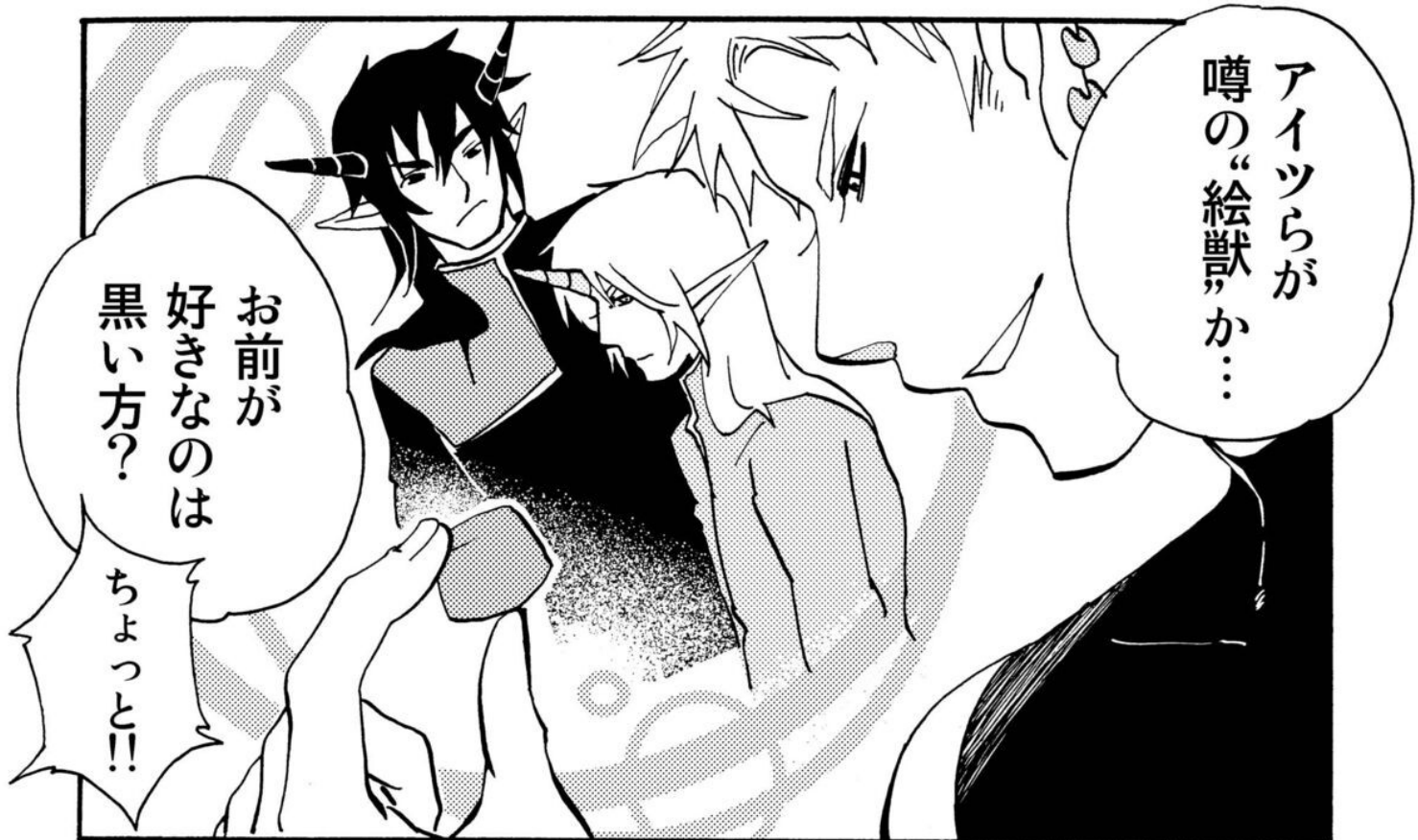
あの時の事…
びっくりして
すごく腹立った
けど…

今は
もう…



見
い
ち
や
っ
た
ー♡

!!
イーゼ!!





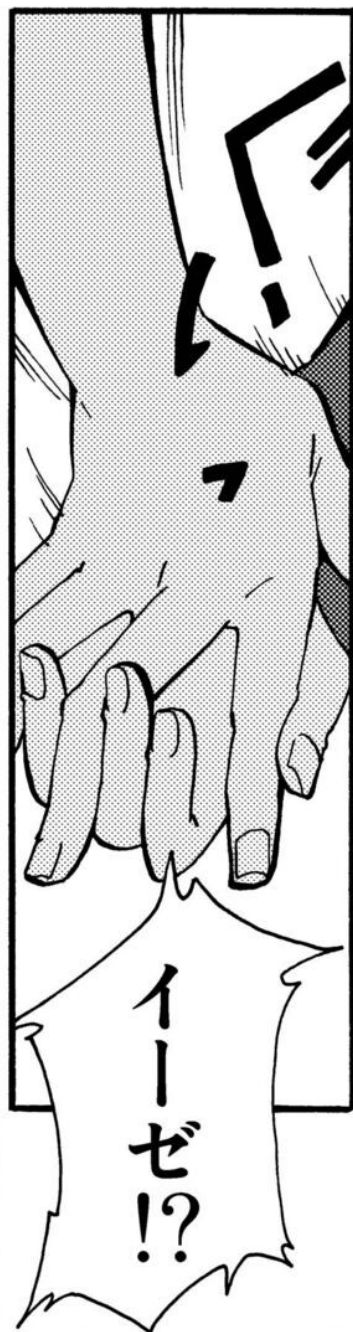




パレットのこと

困らせてる
みてーだな…

!!?



イーゼ!!?

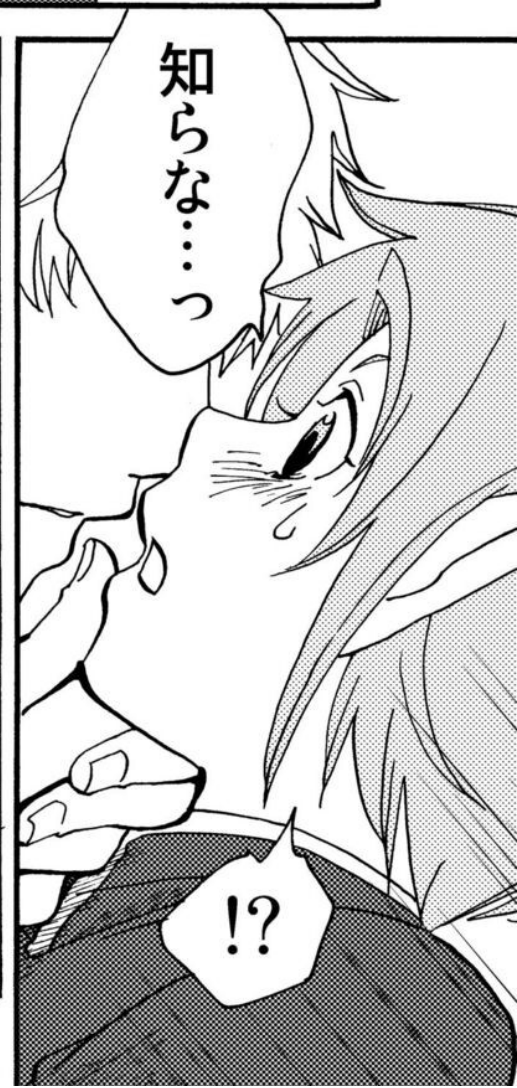


落ち込んでたぞ

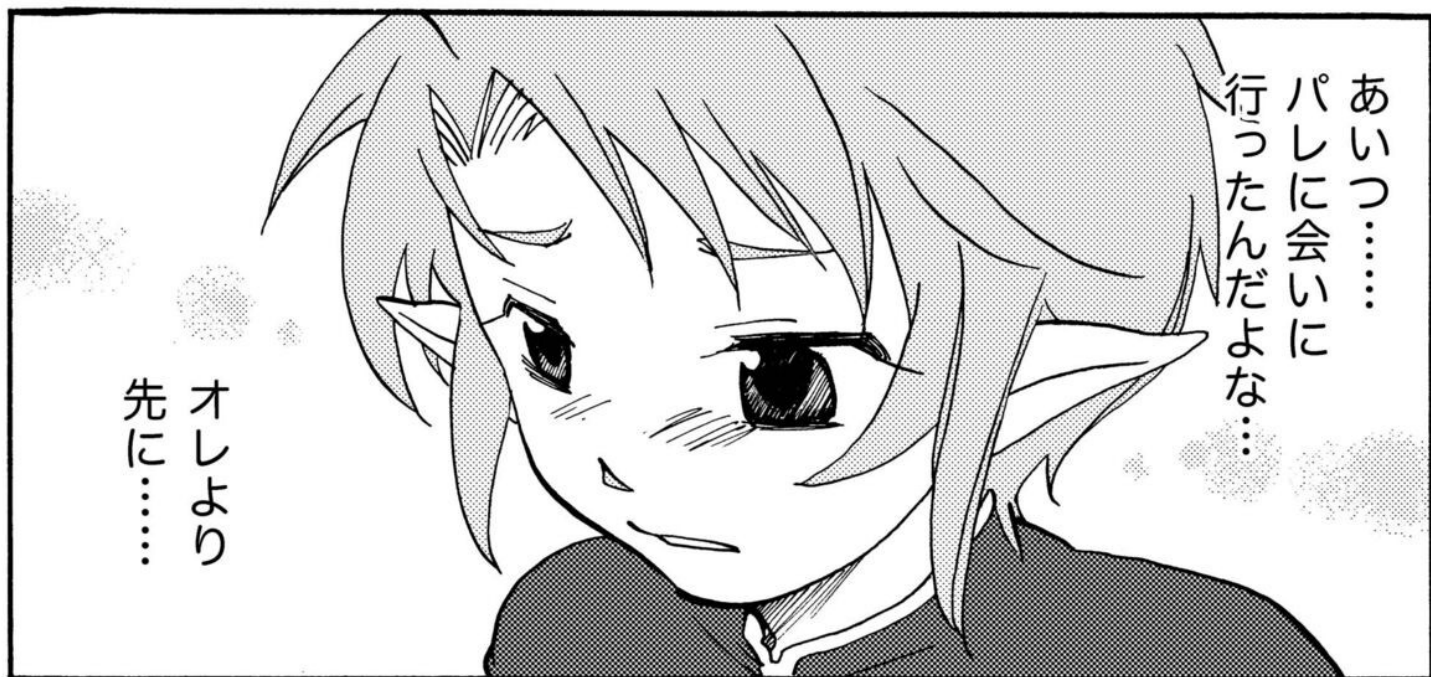
キャンに
嫌われたって…

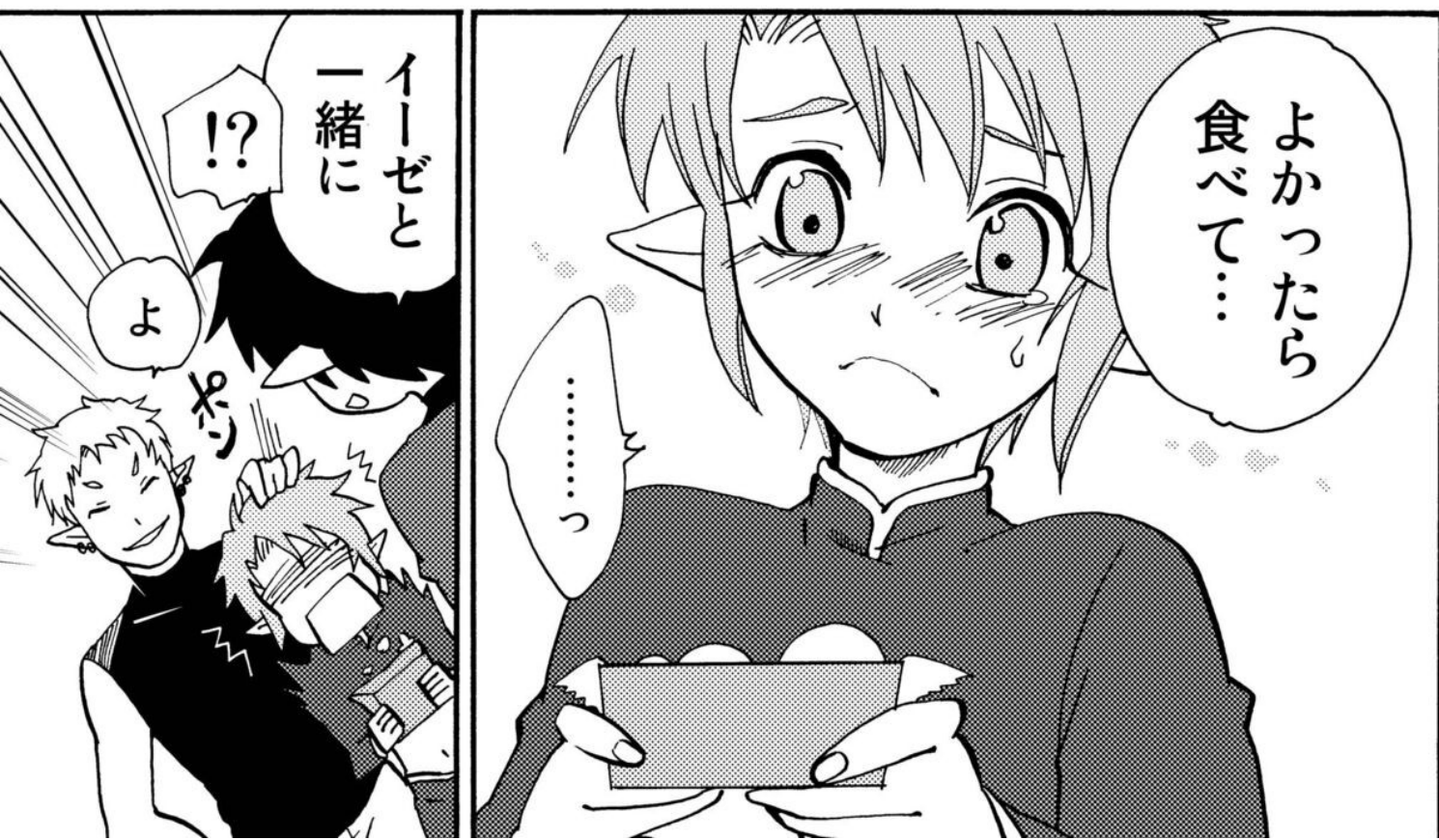
関係ない
だろ!!

はっ
びん

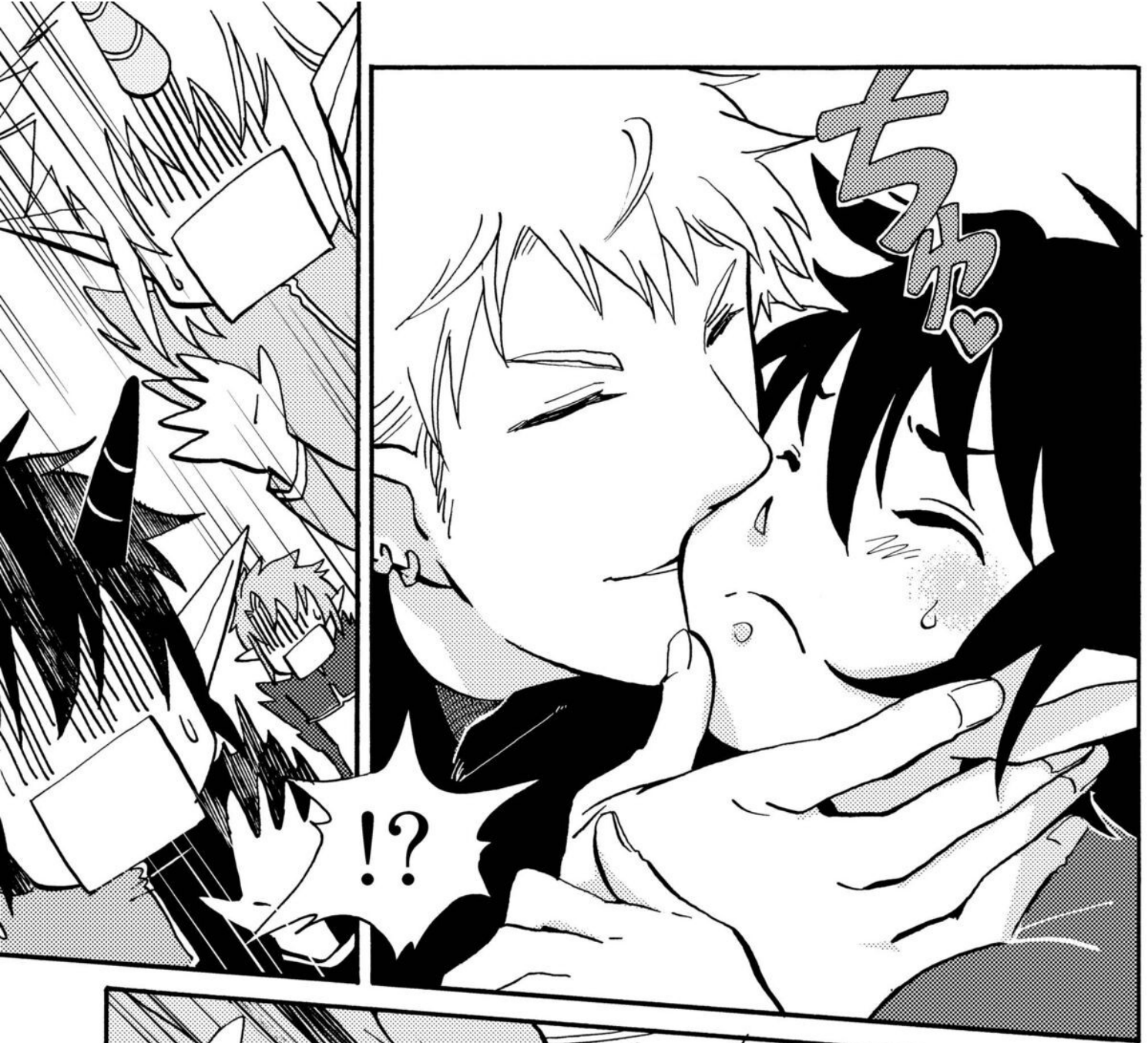






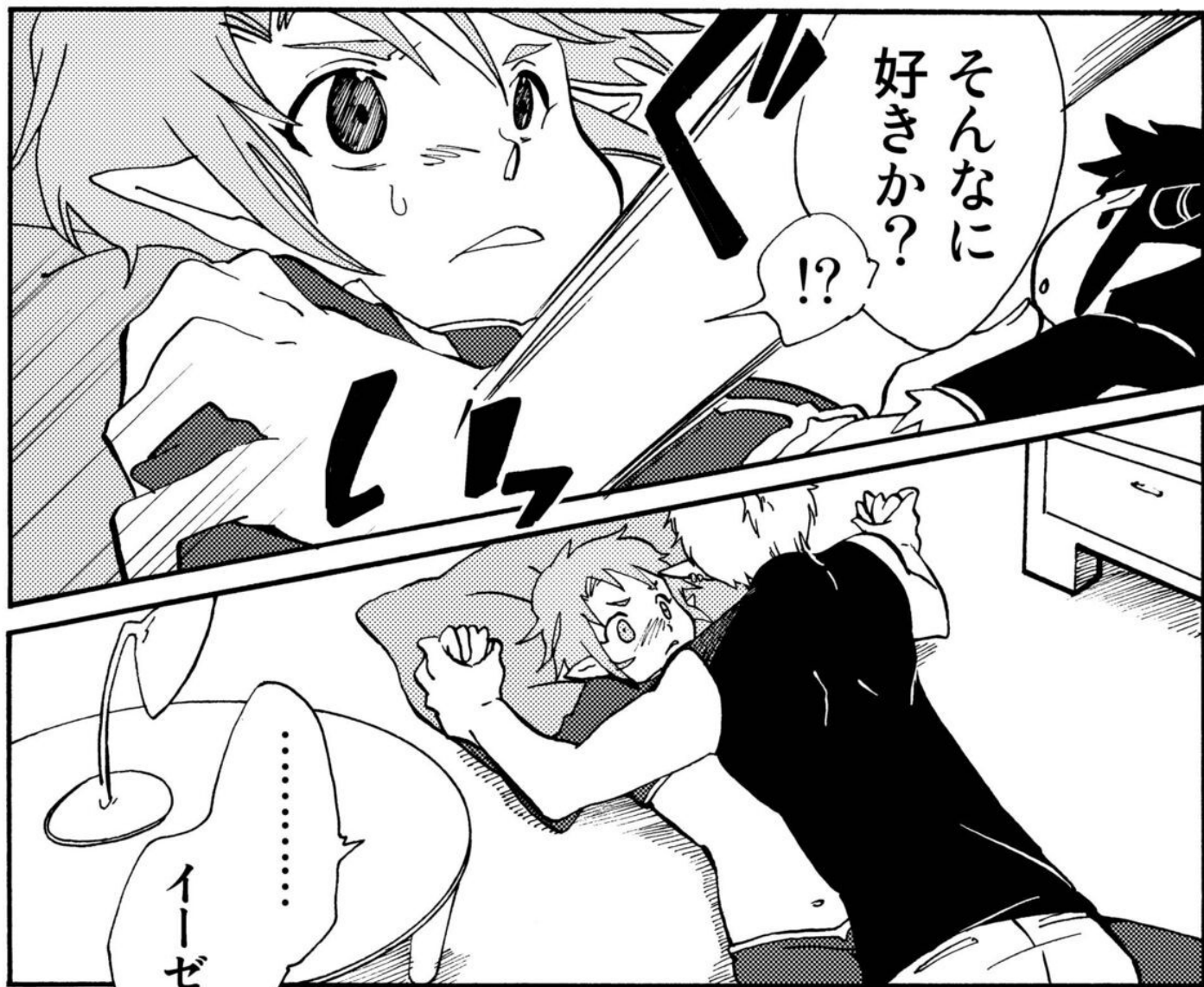




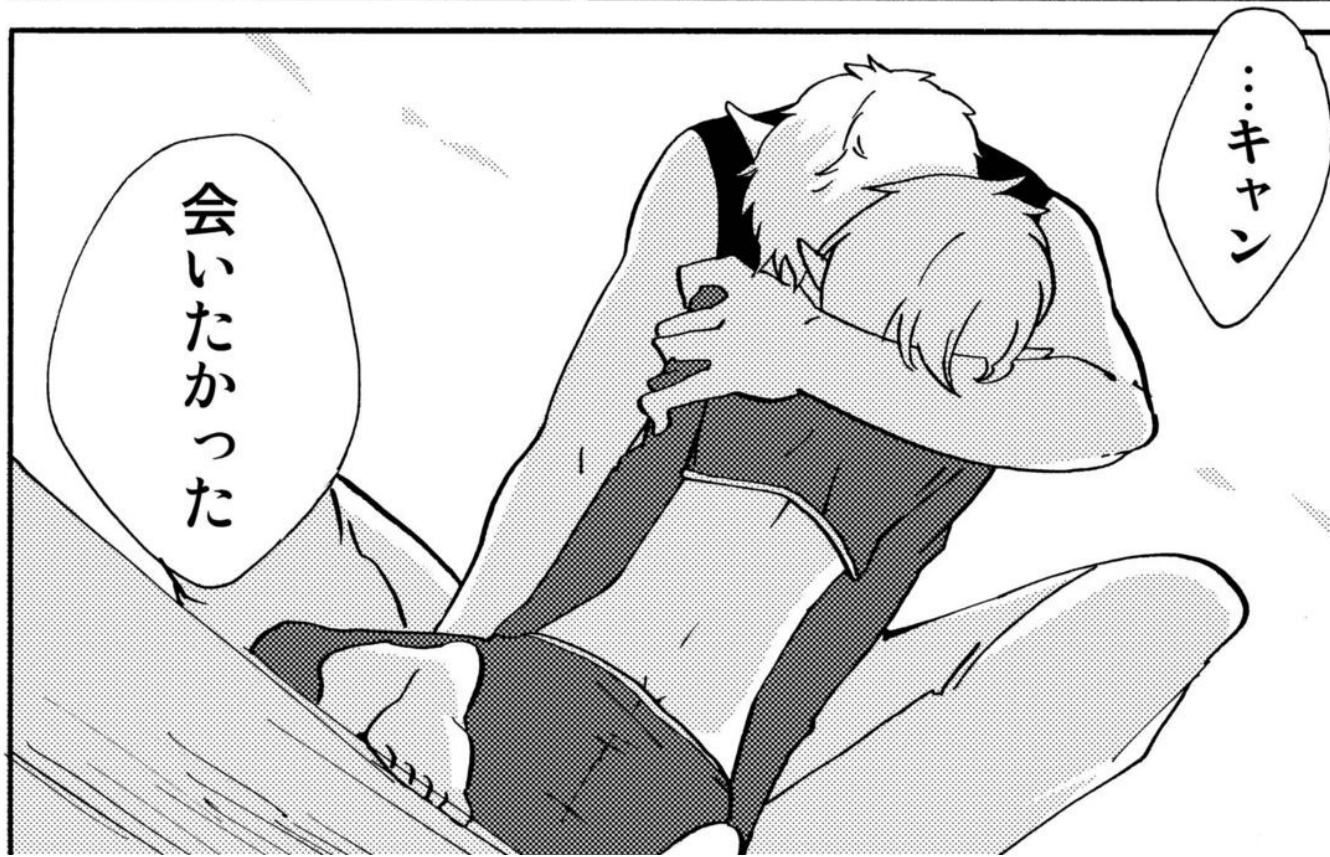
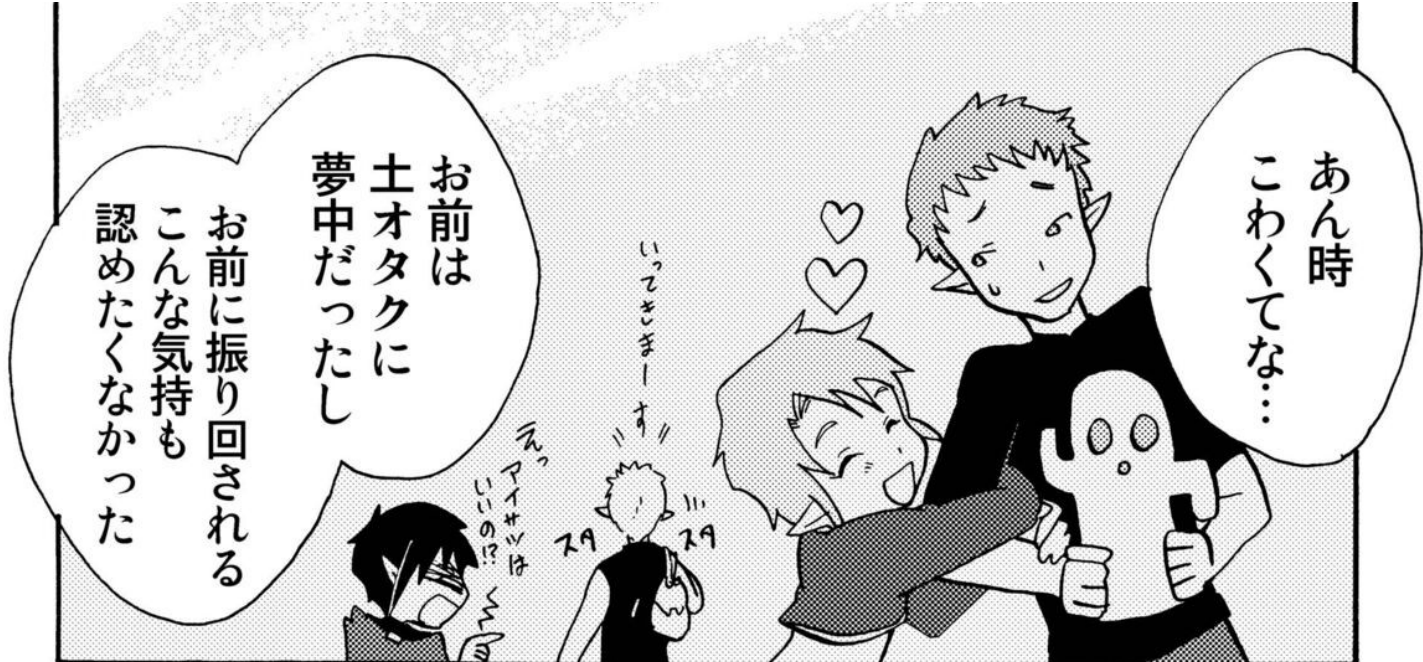
















…んだよ!!
流れがあん
だろー!!

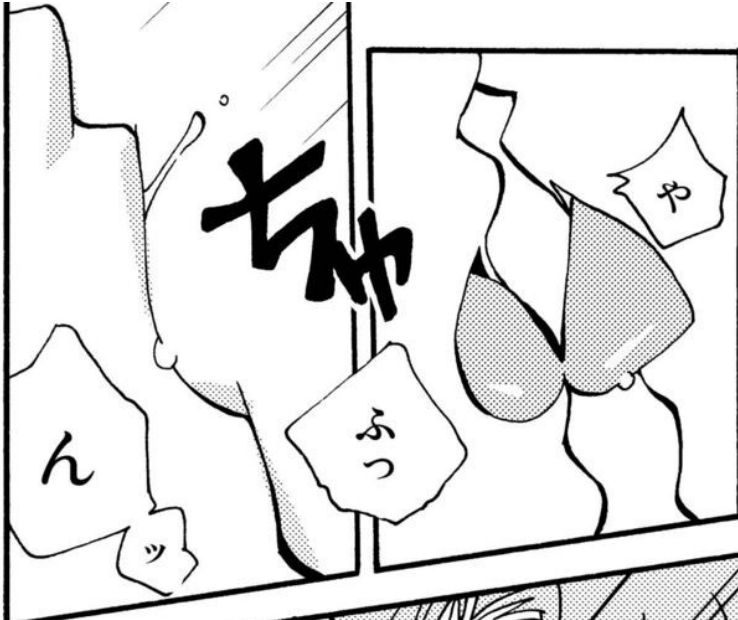
そんなのに
流されて
たまるか!!



まで!!

!?

どろ



ちゃ

ふっ

ん



!!!

は

ッ

パレが……
いつか言ってたな

キャンの言葉は
半分くらい逆さまに
聞いているのが
丁度いいって…





キャン……
アイツも
触ったのか？

し……
してないよ!!



どうきで？

カアアア



へえ……

え!?

ちがう!

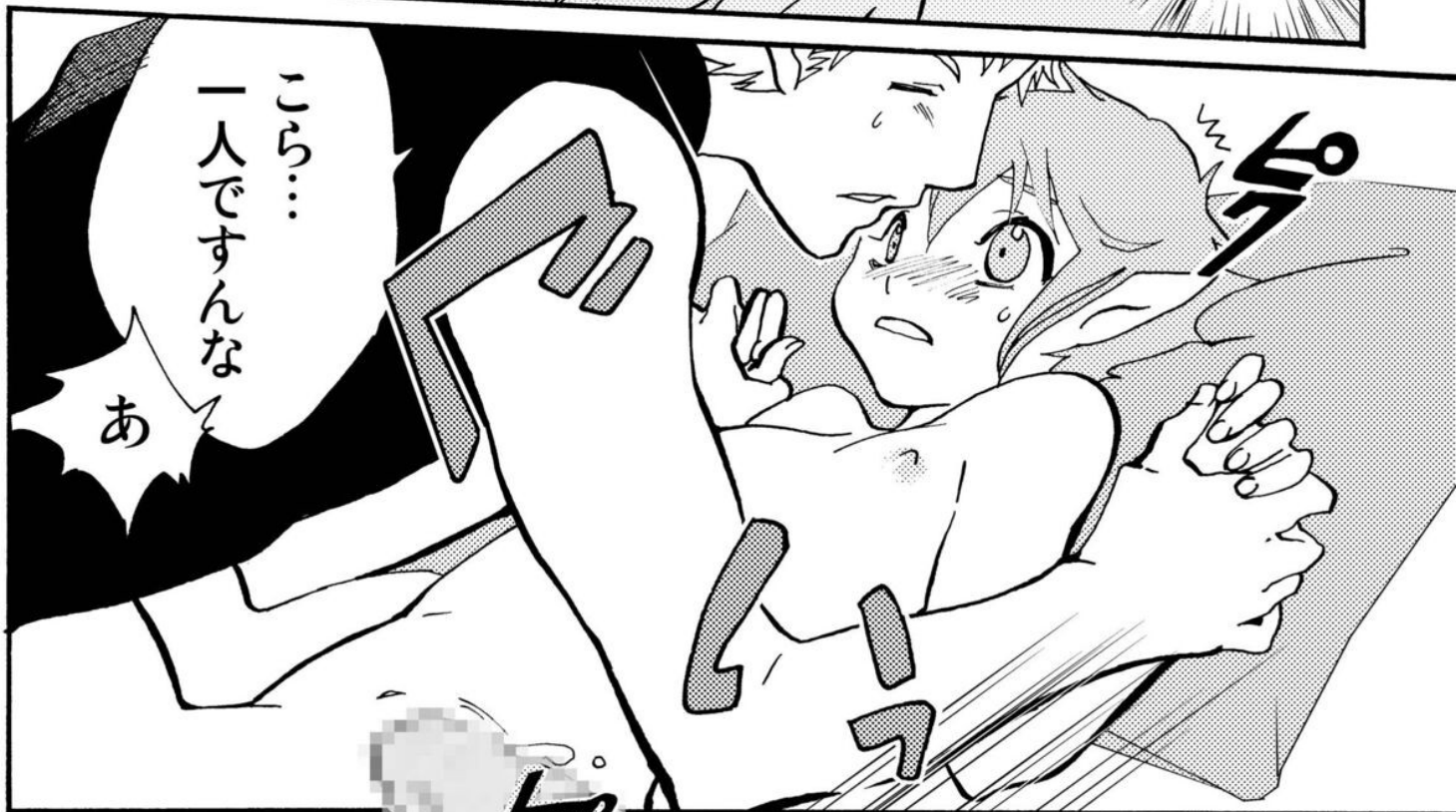
そーゆーんじや
ないってば!!



ギャ!!

すぽ







っ…
イーゼが
中に…

イーゼが
オレの中に
…ツ!!

ああ…

あ

ゼッ

動くな
…!!

ズ

ズ

う…ごくな

いあ

無理だよ…!!

あッ

ズ

苦し…っ!!

力抜けよ…っ

ズッ

ああ



いあ...あ

がっ

グッ
グッ
グッ

や...

ゴ
ゴ
ゴ

びゅ

る

あッ

ズ
ズ
ズ
ん
ン

...アあ

ひあ

ッ!?

あうう

奥に……
どんだん
入ってる……

いん

わかるか……？
キヤン……

ふ

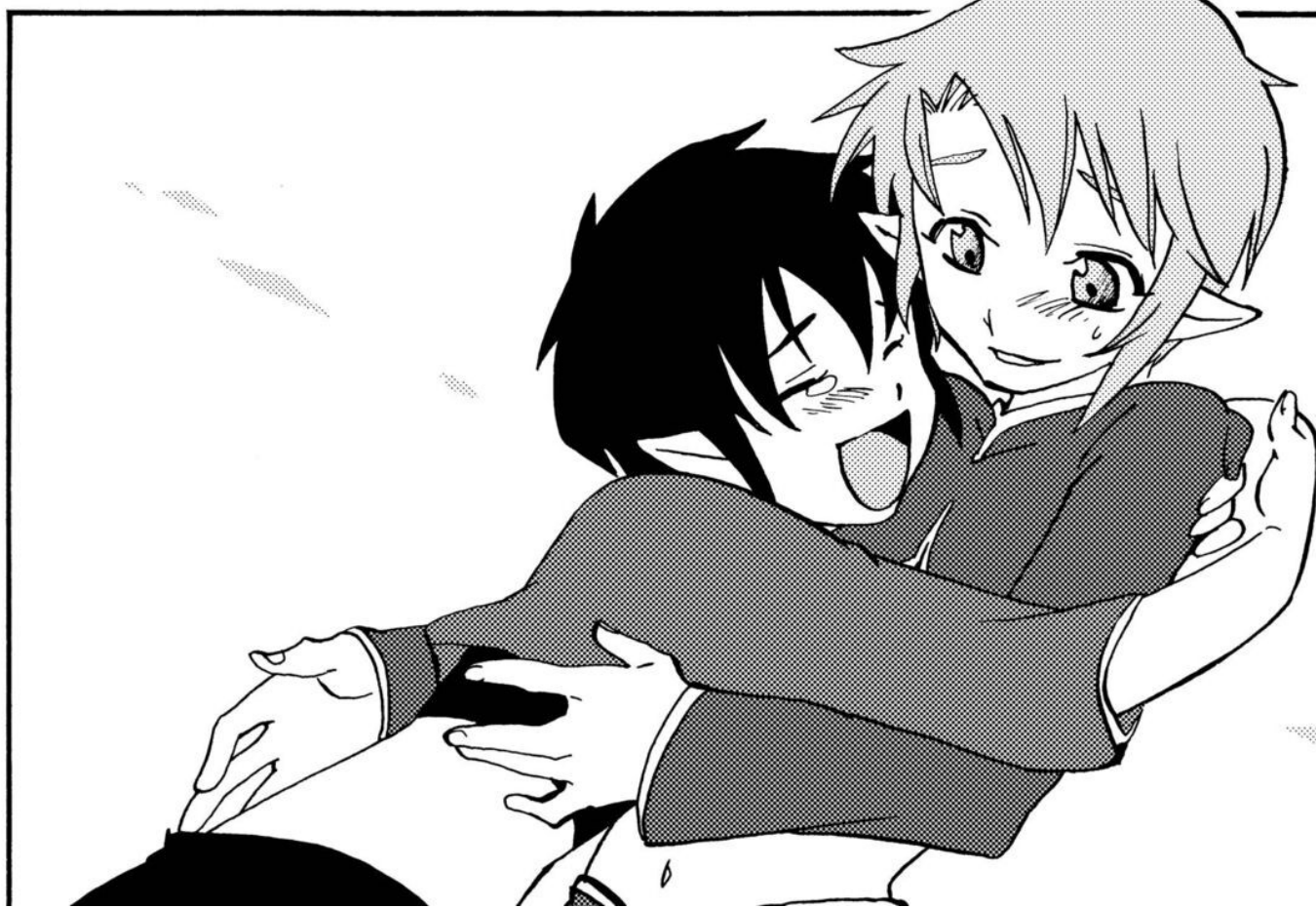
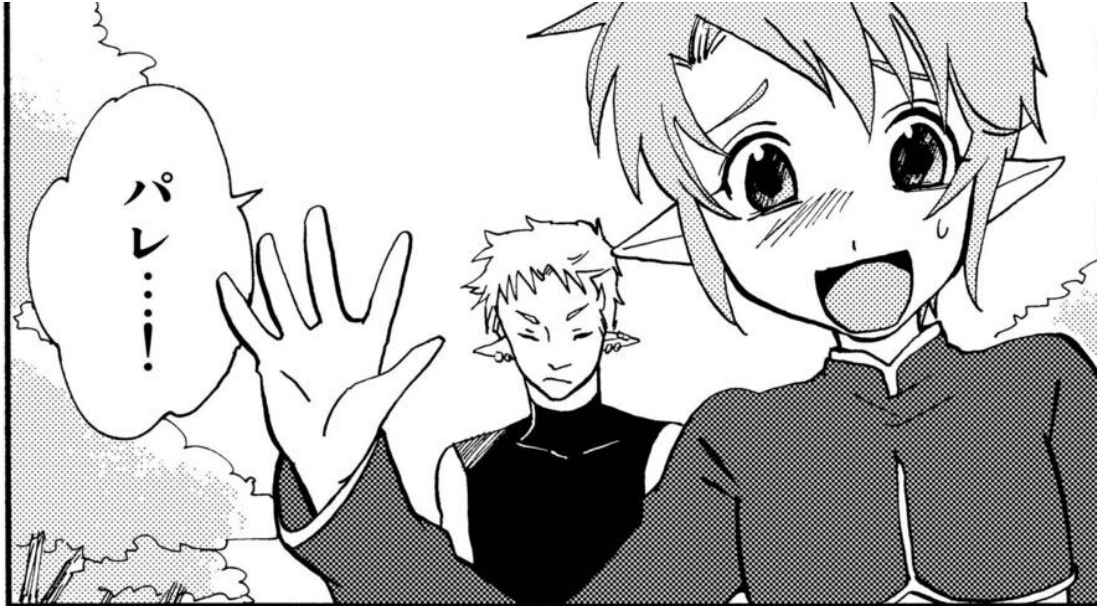
薬のせい
なんかじゃ
ない……

これが……



っ...これが

オレの気持だ...!!





ありがとう...



パレ...

イーゼ...

イーゼ...

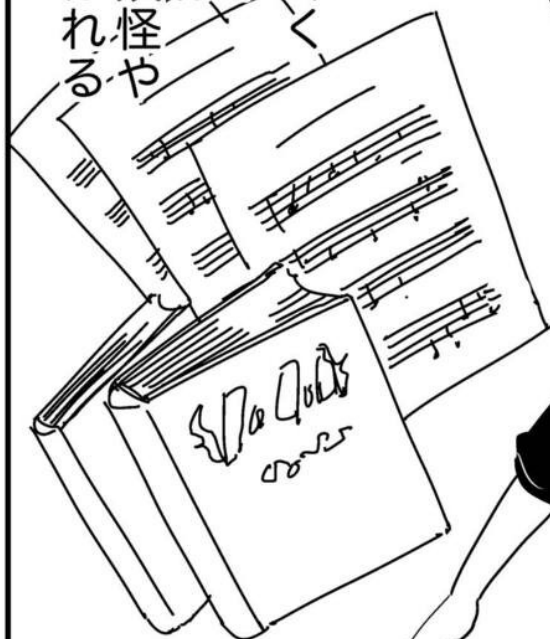




絵に宿る
人の気持ち
感情：想い：

そこに生まれる
気の固まりが
オシたちの
栄養の源：

人の目に
うつりにく
見えにく
オシたちは
しばしば妖
妖精と呼ば
れる



直接人間から
気を取らないのは

彼らの気が
苦くて
美味しく
ないから

人間の気は
複雑すぎて
食べづらい

物に移った
気持ちは
優しくて
やわらかい

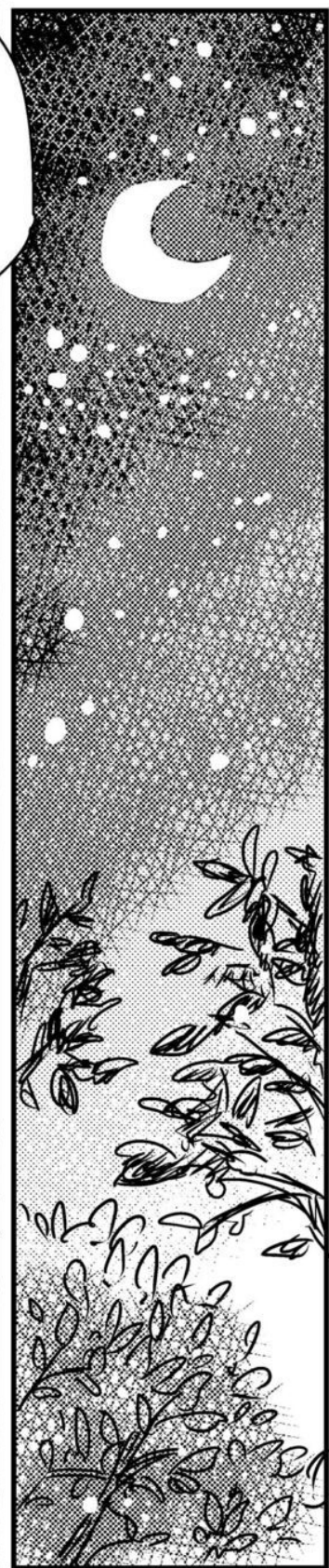
熟成されて
甘い味に
なってる

そんな気の固まりが
積もりに積もって
出てきたのが
「絵獣」のク回とツ回

この世に生まれて
まだ目が浅く
凶体はデカイくせに
頭はからっぽで
いつもハラをすかせてる

2人はオレたちと
ちがって直接
生き物から気を取る
その方が栄養が多くて
満腹になるらしい

味覚も
ちがっていて
オレのことを
美味しいで
言うんだ

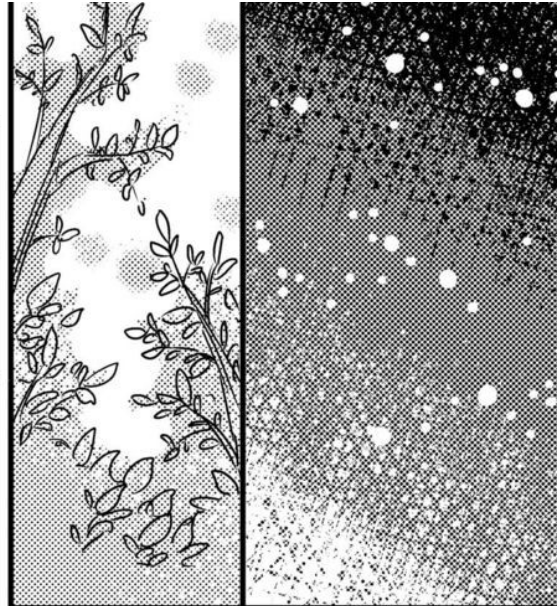


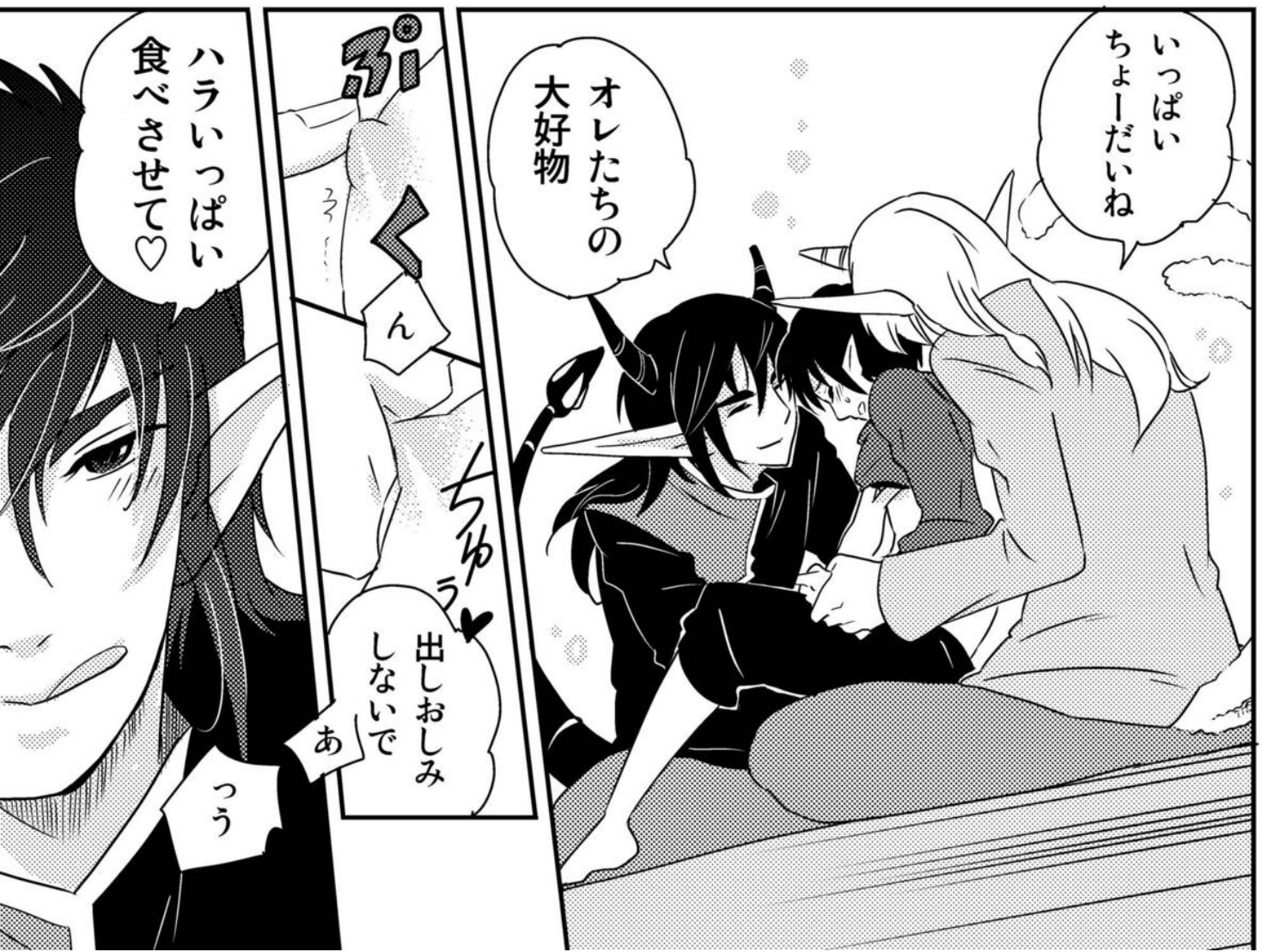
絵の中の君

第四話



パレット









気が!!
吸われて

いあ

あ

あゝっ

熱が引きずり
出される

体の奥から
手足の先
まで気が
巡って...

ぽあ
ぽあ

ぽあ

飛び出して
いく



ムズムズして
あつい...

だめ...っ

きゅん



全身を
くすぐられて
るような
しびれる
ような感覚

はな...

や



体の弱いところが
ジンジンして
敏感になってく

や
やだ

熱がおなかを
まさぐるように
走りまわる

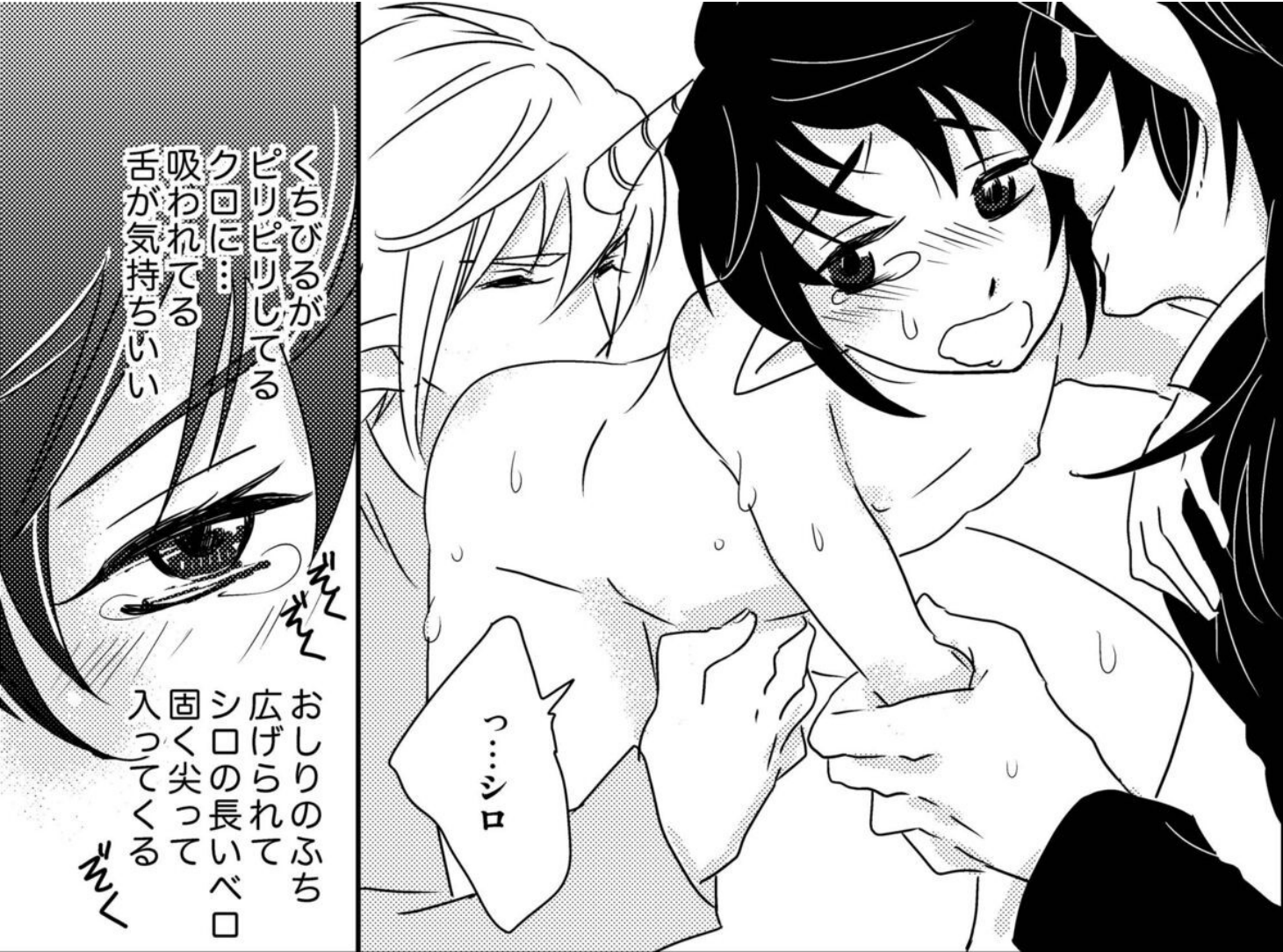
あ…っあ

ふ…っ

下腹に
たまってい
切なくて
もどかしく
て















2人の腰の動き
はやい...ッ
つよくて...

苦しい

深いとこまで
出し入れされて
壊れそう...ッ

ん...ッ
ぐぐぐ



歯立
て
ないでね

はっ
あ

はっ
あ

ん...ぐ



くるしッ

のどの奥
あたって...

咳...
出したいのに
口中に詰め
込まれて...ッ

ぐぐぐ
ぐぐぐ
ぐぐぐ

嫌がって舌で
抵抗してみても
どんどん
入ってきちゃう



のどの奥...ッ
ぎゅぎゅ
締まってる...ッ

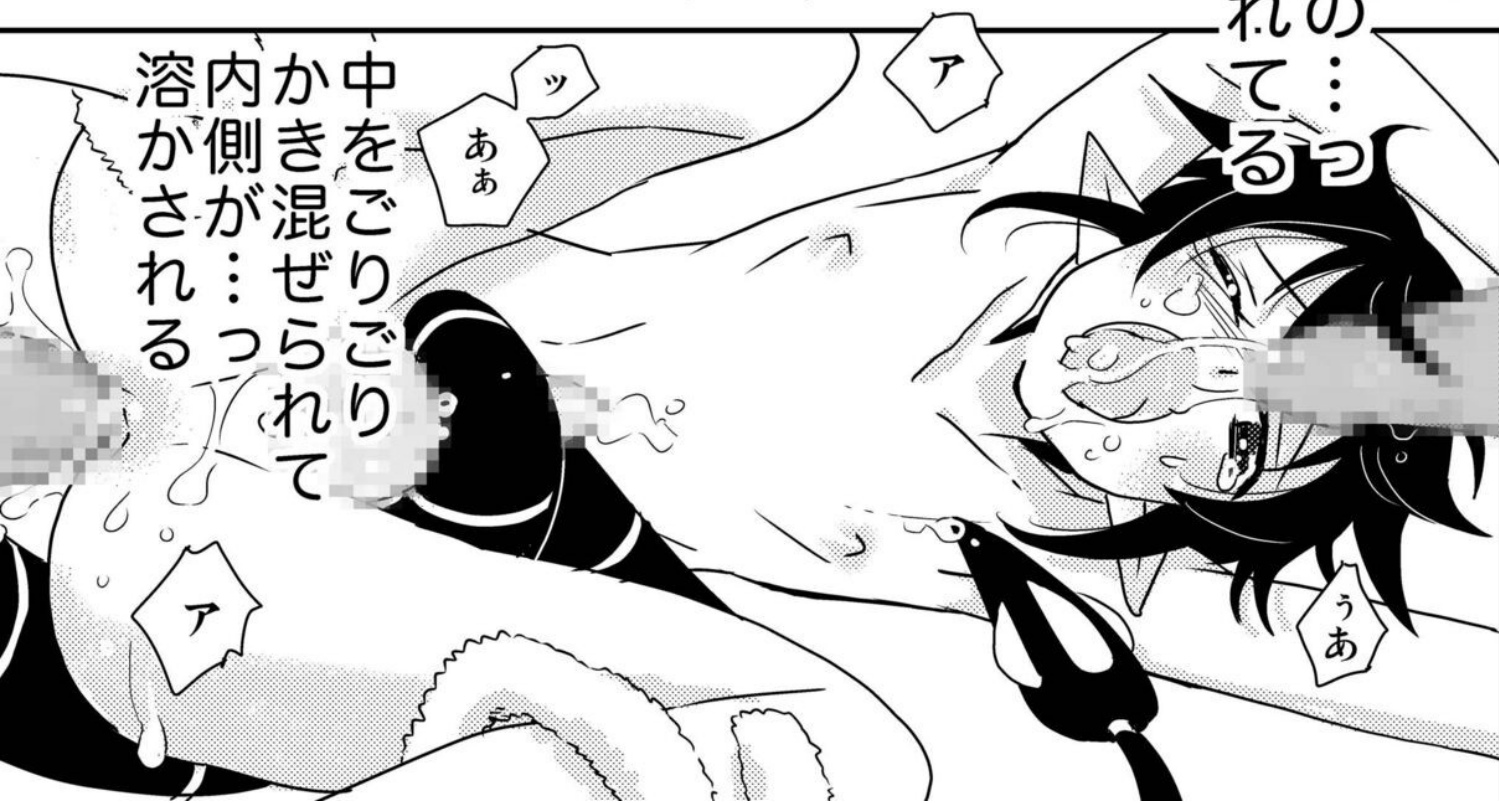
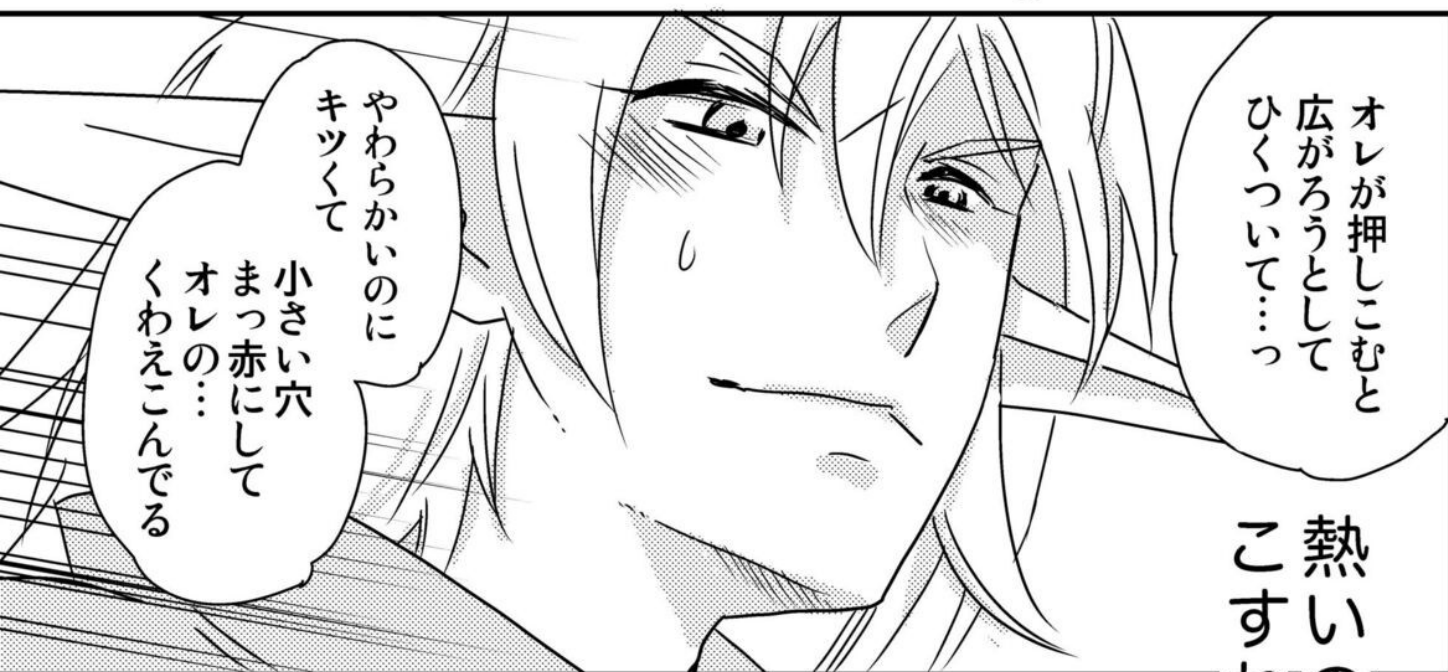
オレの飲み込もうと
してるみたいだ

ん

う

口の中いっぱい
なめまわしてくれてる...
ぬるぬるして
あったかい...

ん





全身くすぐ
られてる
ような痺れ…

体中の気が奪われてく
無理矢理：
引きずり出される



んあ
アッ……っ

くすぐったくて
せつなくて
もどかしくて

ああッ

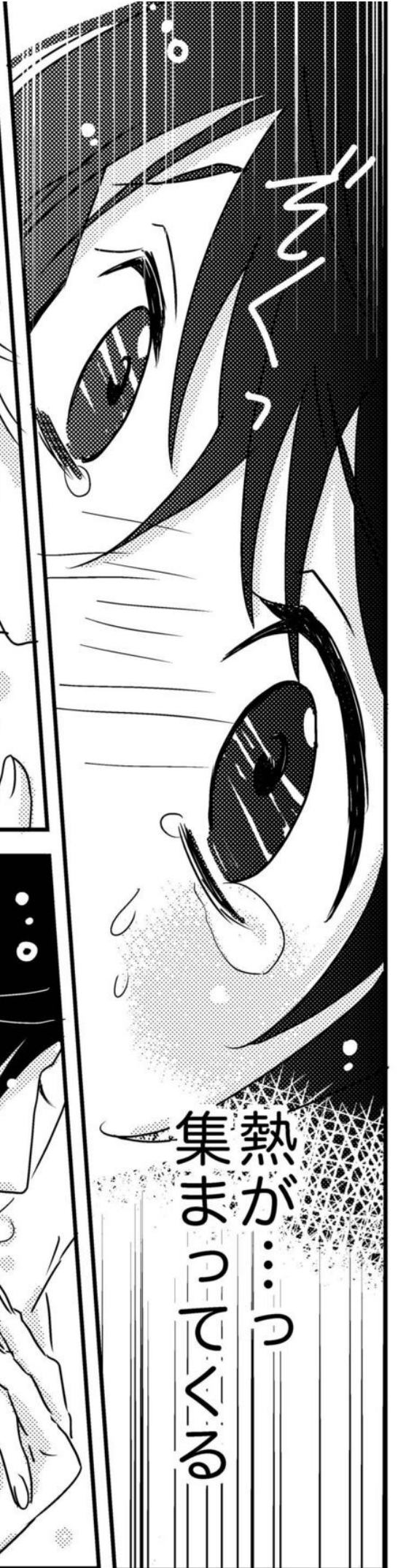
はやく…
はやく…
はやく…っ



シロに
触れられてる
ところから
気が出ていく



クロに触られた
ところから
気が疼いていく



熱が…っ
集まってくる

ぜんぶ…っ

出したっ





…はら
いっぱいに
なったかよ

だいじょーぶ!?

ゲッ
ホッ
ッ

ごめん

はっ
はあっ

パレ…

はあ









君の中の絵

潮だまり



臆病者め!



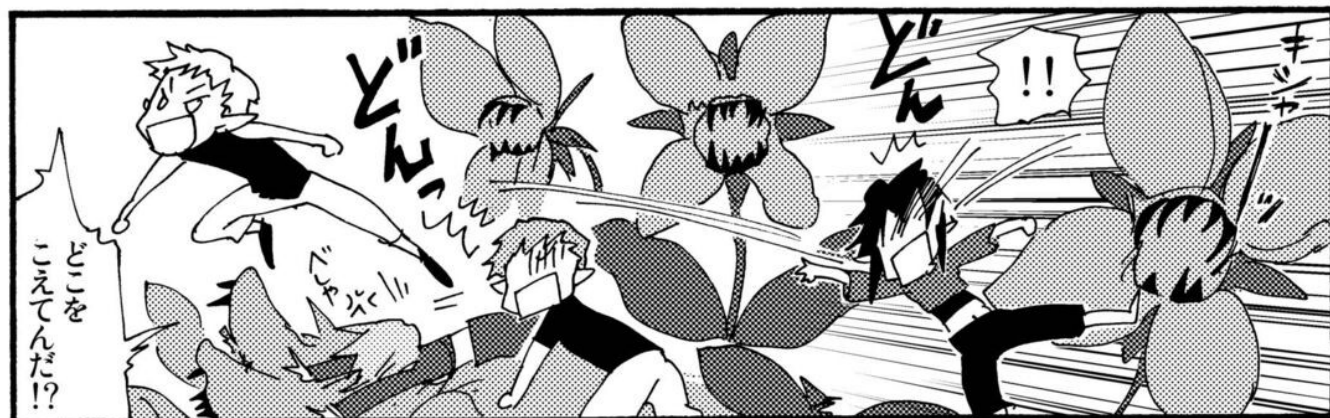
絵の中の君

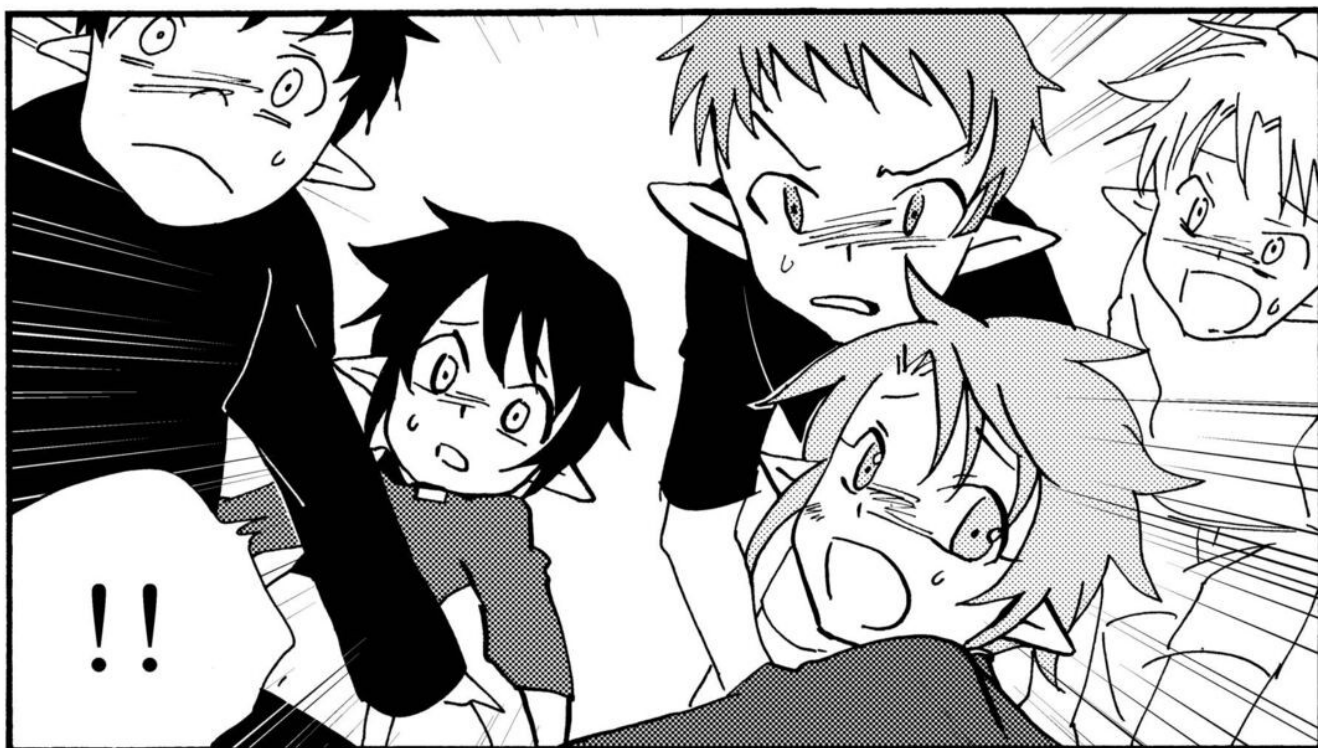
おまけ
少し昔の話



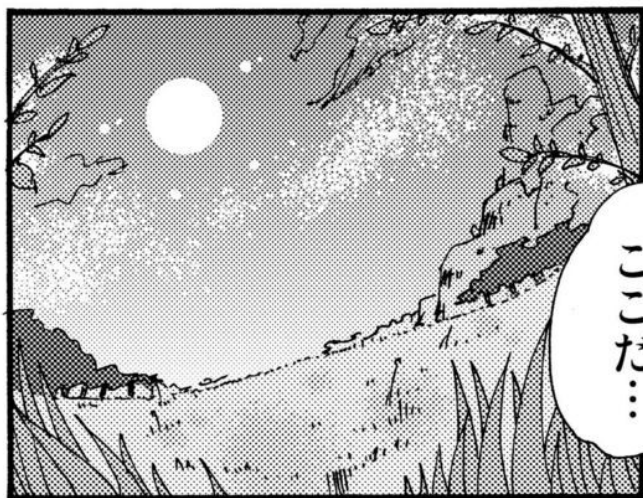
西の森なんて...
じじいに
怒られんじゃないか











ここだ…

ついたぞ

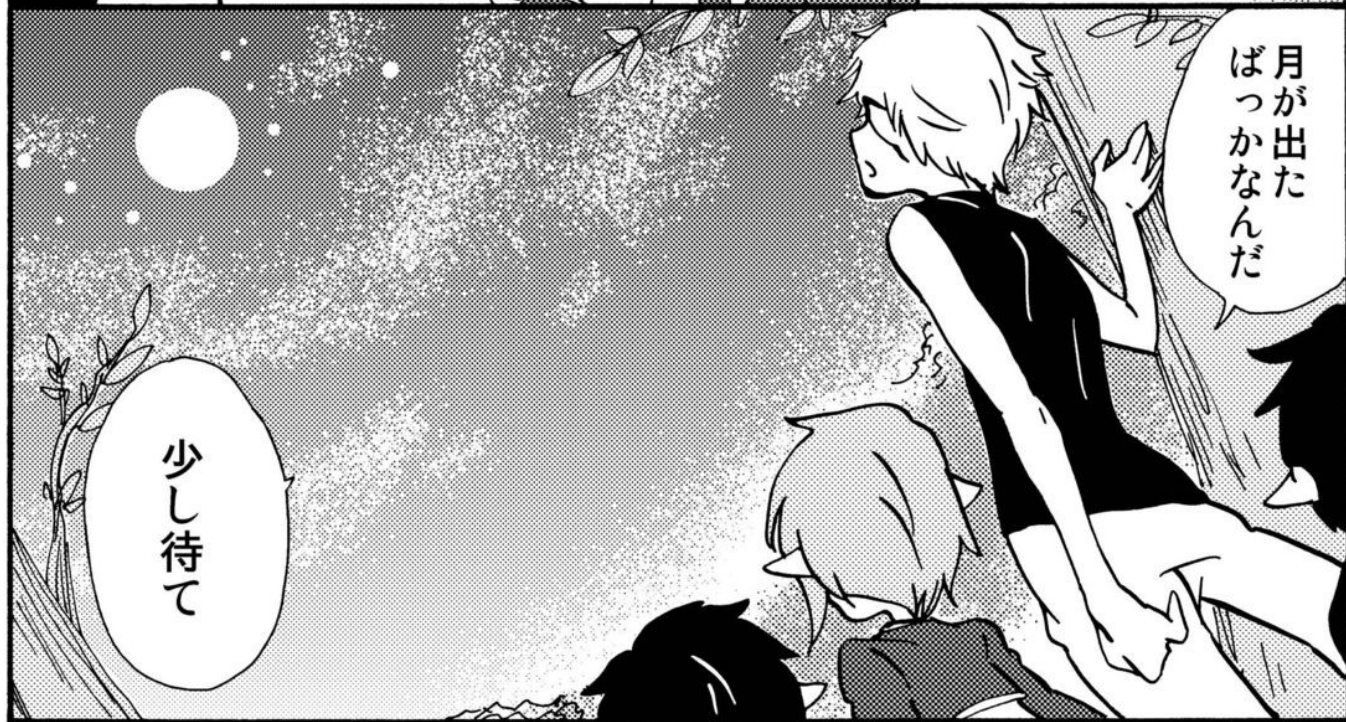
ガサ



何もない
じゃん！
なんだよー
せっかく
来たのに！

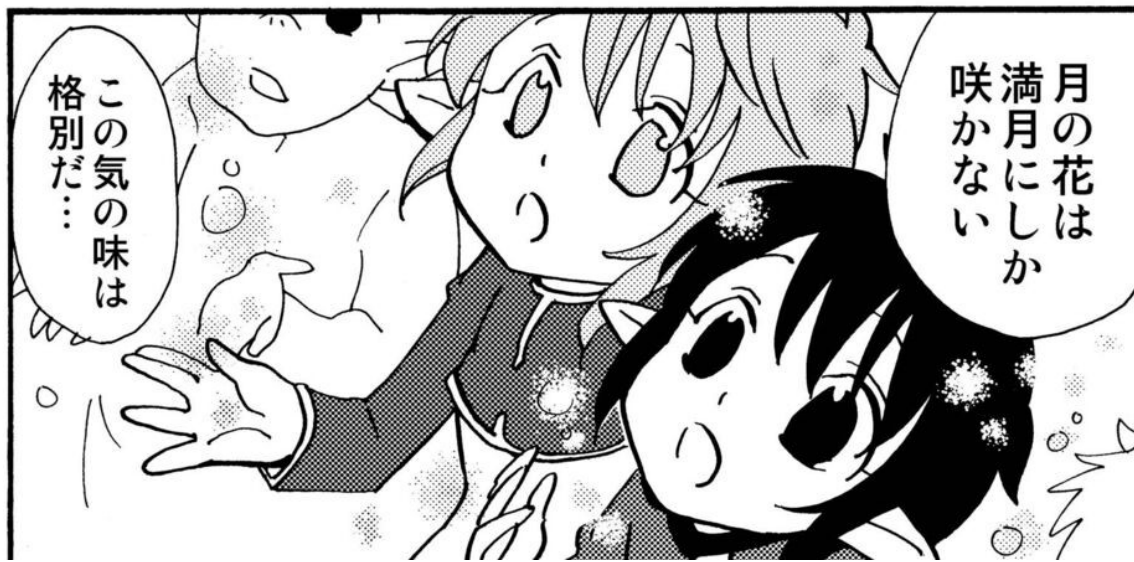
イーゼの
ウソツキ！

うっさい
だまれ



月が出た
ばっかなんだ

少し待て



月の花は
満月にしか
咲かない

この気の味は
格別だ…



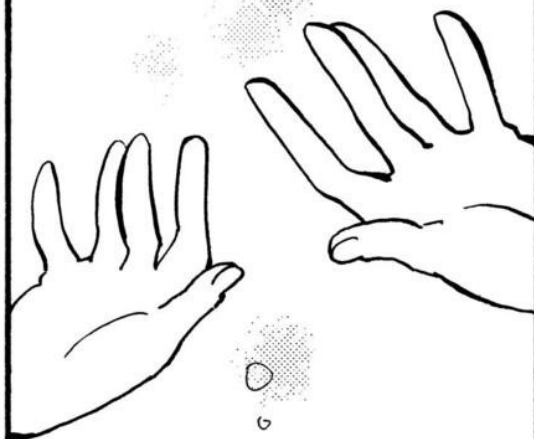


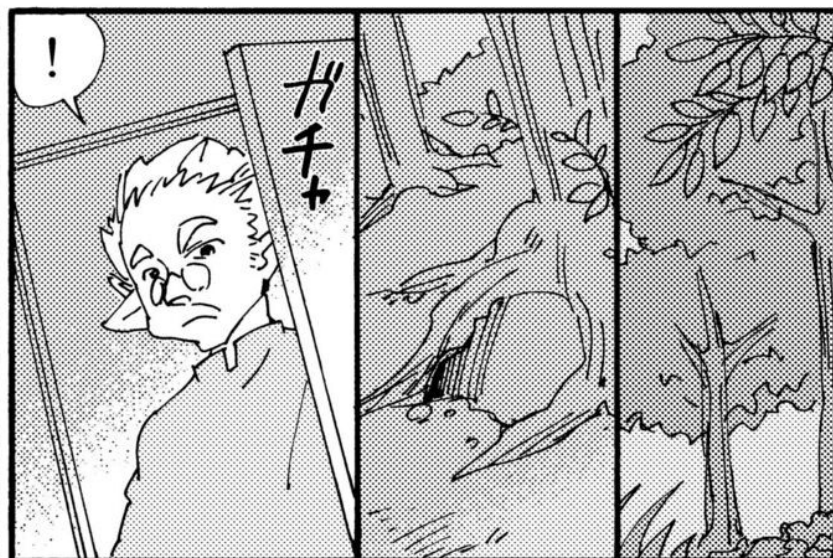
コワイ森で
人知れずに
光ってる花だ

みんな
これで
よかった

いつもより
もっと
美味しいもんな

お前たちにも
見せたかったんだ





Thanks!





絵の中の君2
朝だまり.